



2021年6月21日

各 位

会社名 象印マホービン株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 市川 典男
 (コード 7965 東証第1部)
 問合せ先 取締役 執行役員管理本部長 真田 修
 (TEL. 06-6356-2368)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年12月25日に開示した2021年11月期(2020年11月21日～2021年11月20日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

(1) 2021年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年11月21日～2021年5月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	41,000	3,200	3,200	2,200	32.54
今回修正予想(B)	42,504	4,841	4,787	3,075	45.49
増減額(B-A)	1,504	1,641	1,587	875	
増減率(%)	3.7	51.3	49.6	39.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年11月期第2四半期)	39,819	3,122	3,108	2,032	30.07

(2) 2021年11月期連結業績予想数値の修正(2020年11月21日～2021年11月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	76,000	5,700	5,800	4,000	59.16
今回修正予想(B)	77,500	6,700	6,700	4,400	65.07
増減額(B-A)	1,500	1,000	900	400	
増減率(%)	2.0	17.5	15.5	10.0	
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	74,947	5,440	5,725	3,943	58.34

(3) 修正の理由

第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の制約の影響はあったものの、国内においてはホットプレート、オーブントースター、コーヒーメーカーなどの巣ごもり関連商品や空気清浄機などの衛生関連商品が引き続き好調で、「せん」と「パッキン」がひとつとなった「シームレスせん」を採用したステンレスマグもヒット商品となるなど、売上は堅調に推移しました。

また海外においても、特に北米市場での販売が好調で炊飯ジャーや電気ポット、ホームベーカリーの売上が大きく伸びました。加えて、主力の中国市場も堅調に推移するなど、売上高は当初予想を上回りました。

利益につきましても、圧力IH炊飯ジャーなど高付加価値商品の販売増加、コストダウンや経費の削減効果もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも当初予想を上回りました。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が引き続き不透明ではありますが、主力の

炊飯ジャーをはじめとする新商品の投入で売上の維持拡大を図ってまいります。通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績の状況をふまえて、銅やアルミなど原材料の高騰や為替変動による調達コストの上昇が下期から想定されることを勘案し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の上方修正を行うものであります。

なお、今回から業績予想で前提としております為替レートを1ドル=110円（期初は1ドル=105円）に変更しております。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上